

(議事1)

2025年への具体的対応方針について

② 民間医療機関の具体的対応方針

民間医療機関2025年への対応方針調査結果(東部圏域)

1. 病床について

①[病床数比較]

医療機関名	病床数(床)																		
	合計			高度急性期			急性期			回復期			慢性期			休棟中	休棟	廃止	介護保険施設等へ移行
	現在	2025年	増減	現在	2025年	増減	現在	2025年	増減	現在	2025年	増減	現在	2025年	増減	現在	2025年		
1 右田眼科	9	9	0			0	9	9	0			0			0				
2 畑病院	58	58	0			0	15	15	0	43	43	0			0				
3 宮崎クリニック	15	15	0			0			0			0			0	15	15		
4 安倍内科医院	19	19	0			0			0			0	19	19	0				
5 ヒロセ内科医院	17	17	0			0			0	17	17	0			0				
6 清瀬病院	40	40	0			0	40	40	0			0			0				
7 うちくら内科	19	19	0			0			0			0	19	19	0				
8 佐藤整形外科医院	19	19	0			0			0			0	19	19	0				
9 岡田眼科医院	19	5	▲ 14			0			0			5	5	0	0	19		14	
10 吉賀循環器内科	14	14	0			0			0			0	14	14	0				
11 大分県厚生連健康管理センター	19	19	0			0			0			0	19	19	0				
12 馬場医院	19	19	0			0			0			0	19	19	0				
13 岡嶋医院	19	19	0			0			0	19	19	0			0				
14 中村病院	153	153	0			0	87	55	▲ 32	25	51	26	41	47	6	1			
15 石川胃腸科医院	3	3	0			0	3	3	0			0			0				
16 あおい産婦人科	14	14	0			0	14	14	0			0			0				
17 原嶋内科医院	19	19	0			0			0			0			0	19	19		
18 さかい内科医院	19	19	0			0			0			0			0	19	19		
19 北崎医院	11	11	0			0			0			0			0	11	11		
20 武井医院	19	19	0			0			0			5	5	19	14	▲ 5			
21 垣迫内科医院	19	19	0			0			0			0			0	19	19		
22 木下医院	19	19	0			0			0			0	19	19	0				
23 村橋病院	80	80	0			0			0			0	80	80	0				
24 村上脳神経内科クリニック	19	19	0			0	19	19	0			0			0	19			
25 原嶋内科医院	19	19	0			0			0			0			0	19	19		
26 さかい内科医院	19	19	0			0			0			0			0	19	19		
27 児玉病院	115	115	0			0			0	41	41	0	74	74	0				
28 野口病院	120	120	0			0	120	120	0			0			0				
29 木下医院	19	19	0			0			0			0	19	19	0				
30 石垣病院	59	59	0			0	59	40	▲ 19			19	19	0					
31 別府中央病院	146	146	0			0	39	39	0			0	107	107	0				
32 内田病院	81	81	0			0	40	40	0	41	41	0			0				
33 浜脇記念病院	63	63	0			0			0			0	63	63	0				
34 別府リハビリテーションセンター	116	116	0			0			0	116	116	0			0				
35 黒木記念病院	174	174	0			0	44	44	0	130	130	0			0				
36 古城循環器クリニック	19	19	0			0			0			0			0	19	19		
37 児玉耳鼻咽喉科クリニック	9	9	0			0	9	9	0			0			0				
38 千馬内科医院	19	10	▲ 9			0			0	10	10	0	9		▲ 9				9
39 松本小児科	7	0	▲ 7			0			0			0			0	7		7	
40 金子内科医院	19	0	▲ 19			0			0			0			0	19			19

民間医療機関2025年への対応方針調査結果(東部圏域)

1. 病床について

①[病床数比較]

医療機関名	病床数(床)																		
	合計			高度急性期			急性期			回復期			慢性期			休棟中	休棟	廃止	介護保険施設等へ移行
	現在	2025年	増減	現在	2025年	増減	現在	2025年	増減	現在	2025年	増減	現在	2025年	増減	現在	2025年		
41 九州大学病院別府病院	140	120	▲ 20				104	120	16			0			0	36		20	
42 日出児玉病院	56	56	0			0	56	56	0			0			0				
43 サンライズ酒井病院	142	142	0			0	99	99	0	43	43	0			0				
44 鈴木病院	40	40	0			0	30	30	0	10	10	0			0				
45 八重眼科医院	4	3	▲ 1			0	4	3	▲ 1			0			0			1	
46 杵築中央病院	60	60	0			0	60	60	0			0			0				
47 みやうちウィメンズクリニック	17	17	0			0	17	17	0			0			0				
48 きつき眼科	6	6	0			0	6	6	0			0			0				
49 くりやまレディースクリニック	13	13	0			0	13	13	0			0			0				
50 衛藤外科	5	5	0			0			0			0	5	5	0				
51 あおぞら病院	54	54	0			0	14	14	0	16	16	0	24	24	0				
52 定村内科医院	18	18	0			0			0			0		18	18	18			
53 国見病院	30	30	0			0			0			0	30	30	0				
54 あさひクリニック	17	17	0			0			0			0	17	17	0				
55 福永胃腸科外科医院	19	0	▲ 19			0	19	0	▲ 19			0			0				19
56 姫島村国民健康保険診療所	8	8	0			0	8	8	0			0			0				
【公立・公的医療機関】(※R3病床機能報告より抜粋)																			
杵築市立山香病院	138	138	0			0	44	44	0	94	94	0			0				
国東市民病院	204	195	▲ 9			0	103	94	▲ 9	101	101	0			0				
別府医療センター	452	452	0	136	136	0	316	316	0			0			0				
西別府病院	294	294	0			0			0	10	10	0	250	251	1	34	33		
大分県厚生連鶴見病院	230	230	0	88	46	▲ 42	142	184	42			0			0				
新別府病院	269	263	▲ 6	117	117	0	152	146	▲ 6			0			0				
【未報告医療機関】(※R3病床機能報告より抜粋)																			
6医療機関	215	215	0	0	0	0	38	38	0	0	0	0	177	177	0	0	0	0	0
合計	4,096	3,992	▲ 104	341	299	▲ 42	1,723	1,695	▲ 28	716	771	55	1,043	1,054	11	293	173	61	28

[参考]医療構想(東部)の2025年必要病床数

	病床数(床)														
	合計			高度急性期			急性期			回復期			慢性期		
	2025年 予定	2025年 必要数	過不足	2025年 予定	2025年 必要数	過不足	2025年 予定	2025年 必要数	過不足	2025年 予定	2025年 必要数	過不足	2025年 予定	2025年 必要数	過不足
2025年必要病床数との比較	3,992	3,277	715	299	265	34	1,695	996	699	771	1,223	▲ 452	1,054	793	261

1. 病床について

②[平均在院日数・病床稼働率]

医療機関名	現 在							
	高度急性期		急性期		回復期		慢性期	
	平均在院 日数(日)	病床 稼働率(%)	平均在院 日数(日)	病床 稼働率(%)	平均在院 日数(日)	病床 稼働率(%)	平均在院 日数(日)	病床 稼働率(%)
4 安倍内科医院							17	80
6 清瀬病院			41.5	65.7				
7 うちくろ内科							71.4	51.5
10 吉賀循環器内科							8.7	14.0
13 岡嶋医院					231.5	1.0		
14 中村病院			15.4	73.4	36.8	86.0	160.3	82.2
16 あおい産婦人科			5.8	0.51				
27 児玉病院					32.0	68.3	296.0	94.1
28 野口病院			14.5	34.7				
29 木下医院							26.2	62.7
30 石垣病院			21.0	48.0				
31 別府中央病院			19.8	83.8			414.0	94.3
32 内田病院			19.0	92.4	28.0	100.0		
33 浜脇記念病院							160.0	89.3
34 別府リハビリテーションセンター					127.1	80.3		
35 黒木記念病院			15.7	83.5	55.0	89.1		
41 九州大学病院別府病院			10.5	83.4				
42 日出児玉病院			32.7	63.1				
43 サンライズ酒井病院			2.0	0.1	2	0.3		
44 鈴木病院			20.0	100.0	30.0	100.0		
50 衛藤外科							36.0	120.0
51 あおぞら病院			13	0.98	54.0	0.99		100.0

1. 病床について

③【2025年に向けた病床活用の見通し】

	医療機関名	現状維持	変更等	内 容
1	右田眼科	●		現状どおり
2	畑病院	●		現状どおり
3	宮崎クリニック	●		現状どおり
4	安倍内科医院	●		現状維持を予定しています
5	ヒロセ内科医院	●		現状どおり
6	清瀬病院	●		現状どおり
7	うちくら内科	●		現状どおり
8	佐藤整形外科医院	●		現状どおり
9	岡田眼科医院		●	5床の回復期病床により、別府市以外からの手術希望者や、市内在住の独居の高齢者が、入院して手術を受けることが可能になる。
10	吉賀循環器内科	●		看護職員の不足により病床維持が困難になっており、今後職員の定年退職などを契機に病床を減少あるいは閉鎖もやむないと考えている。
11	大分県厚生連健康管理センター	●		現状どおり
12	馬場医院	●		今後も地域医療を支える診療所として、在宅復帰までの一時的入院、慢性期病床としてベッド機能を維持していきます
13	岡嶋医院	●		回復期の患者様を中心に投薬治療を行なう。
14	中村病院		●	①コロナウイルス陽性患者受入病床確保の為、慢性期病床より6床を急性期病床に変換していたが、感染状況が収束し元に戻ったものとする(2025年) ②令和4年12月に地域包括病床を25床から51床へ増床し、同時に急性期病床を81床から55床へ減床とした(実施済み)。
15	石川胃腸科医院	●		現状どおり
16	あおい産婦人科	●		現状どおり
17	原嶋内科医院	●		現状どおり
18	さかい内科医院	●		現在休床中で、再開の予定は未定です。
19	北崎医院	●		現状どおり
20	武井医院		●	慢性期5床を回復期へ移行
21	垣迫内科医院	●		活用なし
22	木下医院	●		現状どおり
23	村橋病院	●		現状どおり
24	村上脳神経内科クリニック	●		今後も脳神経内科・内科に特化した病床を維持し、治療からリハビリテーションの充実を図る。
25	原嶋内科医院	●		現状どおり
26	さかい内科医院	●		現在休床中であるが、今後の予定は未定です。
27	児玉病院	●		今後も在宅復帰を目指す地域包括ケア病棟と急性期病院からの紹介患者を中心とする看取りを含めた長期の療養を担う医療療養病床により地域に密着した地域包括ケアシステムの構築に貢献する。
28	野口病院	●		従来どおり内分泌疾患に特化した診療を継続する。特に甲状腺疾患については、内科的治療、外科治療、および放射線治療を駆使しあらゆる病態に対応する。大分県内だけでなく県外の広い地域から専門的な医療を求めて受診する患者さんに対応する。
29	木下医院	●		当院は域内中核病院や他院等との連携を積極的に図っており、当院患者様の連携病院などへの紹介・転院や連携病院等からの当院への紹介・転院などのケースも多い。今後も「地域は大きな病棟」と考え域内医療機関との連携を積極的に図る中で、患者様の病態に応じた最善の医療を提供するために病床を活用していきたい。
30	石垣病院		●	当院は急性期医療を主体とした医療を提供している。今後は、病床機能の拡充を図るため急性期のみならず回復期の病床の増床を計画している。患者様に対するリハビリテーション機能の充実も図る。
31	別府中央病院	●		急性期から慢性期まで切れ目無く医療・介護を提供している現体制は、地域医療計画・地域包括ケアシステムの構想に沿っているものと思量します。病床数、病棟構成については、東部医療圏の将来の医療需要および患者動向等の推移を見て対応することとしたい。
32	内田病院	●		既に2025年に向けた病床機能の最終形が完成しております。一般病棟での急性期の内科と整形外科の手術後の患者様に回復期機能を備えた自院の地域包括ケア病棟へ転棟していただき、在宅復帰に向けたリハビリ中心の医療を提供しております。併せて地域包括ケア病棟では自宅等からの直入患者様を受け入れるサブアキュートの機能を持ち合わせた病床運営をおこなうことに努めており、微力ではございますが地域包括ケアシステム構築に貢献できる体制を確立することを目指しております。
33	浜脇記念病院	●		令和2年4月時点で、3階(33床)を介護医療院へ移行済み。 地域の医療機関として療養型患者等の受け皿になると共に、介護医療院へ病床変更を行った病床の充実を図りたい。
34	別府リハビリテーションセンター	●		全床(116床)回復期リハビリテーション病棟としてリハビリテーションを提供し、社会復帰・地域生活へ向けた支援をおこなう。
35	黒木記念病院	●		新型コロナ禍以前は、地域包括ケア病棟(回復期)16床を一般病棟(急性期)へ、一般病棟(急性期)44床を地域包括ケア病棟(回復期)へ変更することを計画していたが、現在、地域包括ケア病棟16床を新型コロナ患者受入病棟として稼働している。今後、新型コロナへの対応について見通しが立たないため、変更計画を保留している。
36	古城循環器クリニック	●		未定

1. 病床について

③【2025年に向けた病床活用の見通し】

	医療機関名	現状維持	変更等	内容
37	児玉耳鼻咽喉科クリニック	●		耳鼻咽喉科有床診療所として鼻科手術を中心に入院手術を行っている。全身麻酔、短期滞在手術。大学病院や県立病院で対応できない症例に対しても、高度な専門性と技術をもって対応している。補完の役割も大きい。 <u>今後も継続していく方針</u> である。
38	千馬内科医院		●	2023年中に <u>9床を介護医療院へ移行予定</u>
39	松本小児科		●	スタッフ不足のため現在休棟。 <u>将来的には廃止を検討中</u>
40	金子内科医院		●	看護師不足のため <u>現在休床としているが、将来的には活用</u> を考えている。
41	九州大学病院別府病院		●	新病院開院を含む九大別府病院再開発事業は2021(令和3年)年4月に文部科学省施設整備事業として承認され、現在、 <u>2024(令和6年)年3月の新病院開院</u> を目指して準備を進めています。 ◇ 新病院の概要 診療科：内科、外科、整形外科、放射線科、 <u>腫瘍科</u> 、麻酔科、リハビリテーション科 <u>病床数：120床</u>
42	日出見玉病院	●		2023.1現在、全床を地域包括ケア病床としており、主に急性後の患者さんに対応すべく病床を活用している。ただ、 <u>移行期であるため急性期の患者さんも少なからず対応しているし、今後も対応していく予定</u> である。
43	サンライズ酒井病院	●		当院がある大分県東部医療圏の高齢化率は2015年に33.1%で2045年までに41.2%まで上昇すると推計されています。今後、当地域の健康寿命延伸に寄与するためには老年疾患への対策を実施することだと考えております。とりわけ骨粗鬆症性骨折、認知症、誤嚥性肺炎へ関わりは最重要と考えています。当院では各種ワーキンググループを立ち上げ、これら老年疾患に対峙できるよう活動を行っています。平成30年10月には <u>新棟増築し従来の「急性期一般病棟」、「回復期リハビリテーション病棟」に新たに「地域包括ケア病棟」を加えました</u> 。同時にリハビリテーション室の拡張移設も行っております。これにより様々な状態の患者様に最適な療養環境が提供可能となりました。急性期病院様のご要望にも十分にお応えできるかと思えます。
44	鈴木病院	●		・日出町の人口減少率は2025年さらに2035年までも緩やかで、今後も介護保健サービスを必要とする高齢者の割合も多い。・地域において救急告示病院としての役割を継続する。・消化器内科、消化器外科、泌尿器科、人工透析医療を主とし、心臓血管外科、循環器内科、腎臓内科、整形外科各専門医との診療連携を行い、 <u>かかりつけ患者を含め地域医療を継続し、地域包括ケアを継続</u> する。
45	八重眼科医院		●	2023年4月から <u>1床廃止予定</u>
46	杵築中央病院	●		<u>現状どおり</u>
47	みやうちウイメンズクリニック	●		<u>現状どおり</u>
48	きつき眼科	●		<u>現状どおり</u>
49	くりやまレディースクリニック	●		<u>現状どおり</u>
50	衛藤外科	●		平成7年1月より医療法人化し外来診療だけでなく往診や訪問診療といった在宅医療に力を入れており、地域に根ざした診療を行っている。 <u>病床は現状維持し、患者様に対するリハビリテーション機能の充実を図る</u> 。そして安心して治療に専念していただけるようにする。
51	あおぞら病院	●		<u>なし</u>
52	定村内科医院		●	休床病床を <u>慢性期で再開予定</u> (18床全てかは未定)
53	国見病院	●		<u>現状どおり</u>
54	あさひクリニック	●		<u>現状どおり</u>
55	福永胃腸科外科医院		●	スプリンクラー設置が不可能なため <u>病棟閉鎖予定</u>
56	姫島村国民健康保険診療所	●		<u>維持</u>

2. 医療機能について

医療機関名	診療科目数	診療科目	現 在												
			5疾病					5事業					その他		
			がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	小児	周産期	救急	災害	へき地			
33	4	内科・循環器内科・皮膚科・リハビリテーション科			●										在宅医療、機能訓練・温熱療法・物療機械器具等各設備の充実を図り一般内科、内科的後遺症に対するリハビリテーションを行い、特に老人性疾患診療にはその特殊性を考慮し効果的診療に努めている。
34	2	リハビリテーション科・内科		●											
35	12	整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、外科、内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、麻酔科、放射線科、皮膚科													リハビリテーション
36	2	循環器科、内科			●	●									人工腎臓(透析)
37	1	耳鼻咽喉科													耳鼻咽喉科手術(短期滞在)
38	1	内科													
39	1	小児									●				
41	6	内科、外科、整形外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科	●			●									
42	8	内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、外科、消化器外科、整形外科、リハビリテーション科													在宅医療、リハビリテーション、健診
43	7	整形外科/脳神経外科/外科/内科/リハビリテーション科/リウマチ科/婦人科		●		●				●		●			在宅医療、リハビリテーション、健康診断
44	9	消化器科、内科、外科、泌尿器科、呼吸器科、肛門科、循環器科、リハビリテーション科、放射線科	●	●	●	●				●	●	●			在宅医療、高気圧酸素治療(高気圧酸素療法専門医)継続血液透析機器を使った腎不全、心不全治療
45	1	眼科													
47	1	産婦人科													
48	1	眼科													手術前後の入院
49	2	産婦人科、小児科													
50	8	内科、外科、循環器科、消化器外科、整形外科、肛門外科、呼吸器内科、リハビリテーション科	●			●									在宅医療
51	9	循環器科・内科・整形外科・放射線科・リハビリテーション科・耳鼻咽喉科・血液内科・人工透析科・腎臓内科			●	●				●					在宅医療
52	1	内科	●	●	●	●									在宅医療
54	4	内科、消化器科、外科、小児科	●			●		●							在宅医療
55															
56	4	内科、外科、小児科、眼科										●			在宅医療、一次救急、リハビリ
医療機能合計			11	9	13	21	0	2	1	6	1	3			

2025年7月1日時点														
医療機能														
5疾病					5事業					その他				
がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	小児	周産期	救急	災害	へき地					
														在宅医療、機能訓練・温熱療法・物療機械器具等各設備の充実を図り一般内科、内科的後遺症に対するリハビリテーションを行い、特に老人性疾患診療にはその特殊性を考慮し効果的診療に努めている。
	●													
														リハビリテーション
														未定
														耳鼻咽喉科手術(短期滞在)
						●								
●			●											
														在宅医療、リハビリテーション、健診
	●		●					●		●				在宅医療、リハビリテーション、健康診断、人工透析
●	●	●	●					●	●	●				在宅医療、人工透析、高気圧酸素治療継続
														手術前後の入院
●			●											在宅医療、リハビリテーション、健康診断
			●	●				●						在宅医療
●	●	●	●											在宅医療
●		●			●									在宅医療
													●	在宅医療、一次救急、リハビリ
11	9	12	21	0	2	1	6	1	3					

3. 連携している医療機関について

医療機関名	主な紹介元医療機関	主な紹介先医療機関
4 安倍内科医院	新別府病院、鶴見病院、別府医療センター	新別府病院、鶴見病院、別府医療センター
5 ヒロセ内科医院	別府医療センター	九州大学別府病院
6 清瀬病院	別府医療センター、鶴見病院	
7 うちくら内科	新別府病院	新別府病院
10 吉賀循環器内科	新別府病院	新別府病院
11 大分県厚生連健康管理センター		大分県厚生連鶴見病院
12 馬場医院	新別府病院・医療センター・鶴見病院他	新別府病院・医療センター・鶴見病院他
13 岡嶋医院	別府医療センター	鶴見病院、新別府病院
14 中村病院	別府医療センター・新別府病院・大分県厚生連鶴見病院	畑病院
15 石川胃腸科医院	九州大学病院別府病院、新別府病院、別府医療センター、鶴見病院	九州大学病院別府病院、新別府病院、別府医療センター、鶴見病院
16 あおい産婦人科		別府医療センター、大分県立病院、大分大学病院
17 原嶋内科医院		新別府病院
18 さかい内科医院	新別府病院	鶴見病院
20 武井医院	鶴見病院、新別府病院	医療センター、鶴見病院、新別府病院
23 村橋病院	新別府病院、別府医療センター、鶴見病院、黒木記念病院、中村病院、内田病院など	新別府病院、別府医療センター、鶴見病院、黒木記念病院、中村病院、内田病院など
24 村上脳神経内科クリニック	別府医療センター、新別府病院、鶴見病院	別府医療センター、新別府病院、鶴見病院
25 原嶋内科医院		新別府病院
26 さかい内科医院	新別府病院、鶴見病院、九大別府病院、別府医療センター	新別府病院、鶴見病院、九大別府病院、別府医療センター
27 児玉病院	NHO別府医療センター、厚生連鶴見病院、KKR新別府病院	NHO別府医療センター、厚生連鶴見病院、KKR新別府病院
28 野口病院	おおが耳鼻咽喉科クリニック、ふじひら内科医院、江本内科	二田哲博クリニック、田尻クリニック、ふじひら内科医院
29 木下医院	新別府病院、大分大学医学部付属病院、黒木記念病院	新別府病院、別府医療センター、九州大学病院別府病院
31 別府中央病院	別府医療センター、鶴見病院、新別府病院	九州大学病院別府病院、別府医療センター、新別府病院
32 内田病院	鶴見病院、新別府病院、九州大学別府病院	浜脇記念病院、村橋病院、別府中央病院
33 浜脇記念病院	別府医療センター、新別府病院、内田病院	新別府病院
34 別府リハビリテーションセンター	鶴見病院、新別府病院、別府医療センター	
35 黒木記念病院	別府医療センター、新別府病院、鶴見病院	紹介元医療機関への逆紹介
42 日出児玉病院	別府医療センター、厚生連鶴見病院、新別府病院	別府医療センター、九大別府病院、厚生連鶴見病院
43 サンライズ酒井病院	国東市民病院、杵築市立山香病院、杵築中央病院	別府医療センター、鶴見病院、新別府病院
44 鈴木病院	別府医療センター、鶴見病院、新別府病院	別府医療センター、鶴見病院、新別府病院
47 みやうちウイメンズクリニック		独立行政法人 国立病院機構 別府医療センター
48 きつき眼科		別府医療センター
49 くりやまレディースクリニック		別府医療センター
50 衛藤外科	別府医療センター、鶴見病院、新別府病院	山香病院、サンライズ酒井病院、別府医療センター
51 あおぞら病院	別府医療センター	厚生連鶴見病院
52 定村内科医院	国東市民病院	国東市民病院
53 国見病院	国東市民病院	
54 あさひクリニック	国東市民病院	国東市民病院
56 姫島村国民健康保険診療所		国東市民病院、別府医療センター、高田中央病院

4. 当院の特徴について

医療機関名	特徴①		特徴②	
2 畑病院	リハビリテーション	24時間365日 豊富なりハビリ専門(PT OT ST)職員が対応	診療	糖尿病 高血圧 循環器疾患の精査と治療 睡眠時無呼吸の精査と治療
4 安倍内科医院		主に慢性期の内科疾患を治療しています		
6 清瀬病院		腎臓病・透析治療に特化		
10 吉賀循環器内科	地域住民に向けた医療提供	当地に開業して97年、祖父母の代から当院に受診している患者も多い。慢性疾患の治療等に関して家族ぐるみで健康管理を行っている。		
12 馬場医院	在宅医療	現在、在宅・施設への訪問診療を行い、急変時に速やかな対応が出来る	入院医療	在宅・施設に戻る事が難しい患者様の受け入れ、長期療養が出来る
13 岡嶋医院	かかりつけ医としての身体的、精神的サポート	当たり前のことではあるが、家族関係等十分把握して、その患者様の症状の解明、治療、精神的なケア、家族への説明等、心優しい人間関係を築いている。		
14 中村病院	特徴的な診療体制	・当院は別府市において地域密着型の整形外科、泌尿器科等の外科系病院として位置づけられる。診療科別売上高として、整形外科と泌尿器科で7割程度を占めている。 ・当院は地域密着の医療機関として、地元の皆様の生活を支えるサービスの提供として「訪問看護」「訪問リハビリ」を行うなど、成人病、老人医療に対しても積極的に取り組んでいる。		
15 石川胃腸科医院		日本大腸肛門病学会専門医(肛門科)による日帰り手術		日本消化器内視鏡学会専門医による日帰り大腸ポリープ切除
20 武井医院	受入体制	市内の機関病院、老人ホームなどから紹介による回復期の患者さん、慢性期の患者さんの受入れを強化充実していきたいと考えます	連携体制	当院併設のケアプラン、ヘルパーステーション、訪問看護と当院外来病棟での地域の患者さんの医療介護を充実する
23 村橋病院	重症度の高い患者の受入れ	急性期の治療が終了し、在宅復帰が難しい方や、高齢者施設等への入所が難しい方などの重症度の高い方の受け入れを行っている	法人内での連携	当法人は、介護医療院を併設しており、一般病棟での治療終了後の在宅復帰が難しい方や、継続的な医療が必要な方の受け入れをしている。24時間医師や看護師が常駐しているため安心して療養できる環境
24 村上脳神経内科クリニック	救急対応	脳神経内科専門医が早急に診察をし、適切な指示の基に職員間での情報共有を図る。緊急を要する救急患者を早急に救急病院等に搬送し、地域医療に積極的に対応している	専門性	MRI・CT等で迅速に救急に対応している
26 さかい内科医院	地域に密着したかかりつけ医院	気軽に受診や相談のできる医療機関	介護医療	かかりつけ患者様に対して、介護の申請や相談、訪問診療等行なっています。
27 児玉病院	リハビリテーション	脳血管、運動器、呼吸器のリハビリテーションを実施、また、歯科衛生士による口腔ケアを積極的に行い、同法人の耳鼻咽喉科と連携し摂食嚥下機能の回復に力を入れている。	血液透析	透析専門医を配置し、地域では多い90名以上の透析患者を受け入れており、今後も医師及び従事者の確保を図り、更に充実させ地域に貢献できる施設とする。
28 野口病院	内分泌疾患に特化した専門的な診療	弊院は創立当初から甲状腺疾患に特化した診療を行ってきた。現在では甲状腺のみならず、副甲状腺疾患や糖尿病などの代謝疾患の診療にも取り組んでいる。下垂体疾患や副腎疾患に対しては内分泌学的検査、画像検査の結果に基づいて大学病院等との連携をはかり治療に繋げている。	診療科の枠を越えたチーム医療の提供	患者さんを中心として、内科、外科、放射線科などの枠組みにとらわれず、医師以外の医療スタッフも含めたチーム医療を実践している。
29 木下医院	院内連携	当院では、院長が内科主体に総合的な診療を担当し、副院長が専門医として眼科の診療を行っている。 希望する患者様については両科を同一時間帯に受診することが可能であり、糖尿病や高血圧など両科に関連の深い疾患も多いことから、内科・眼科が連携して経過観察・加療を行っている。	医療機関連携	患者様には多種多様な疾患を抱えた高齢の方が多くことから、経鼻内視鏡検査・腹部超音波診断・デジタルX線装置・心電図・眼底三次元画像解析などを活用し当院でできる限りの診療に努めているが、症状が重篤であったり集学的な治療を要する患者様については域内の中核病院に速やかに紹介することなどで、患者様に対し高度かつ専門的な医療の提供に努めている。
30 石垣病院	連携体制	高度急性期の病院や在宅医療を行っている診療所、介護施設などからの患者の受入れのための連携と退院後の在宅復帰に向けた支援を行う。	診療体制	地域のかかりつけ医として、時間外・夜間・休日の対応や急変時の入院対応、在宅医療の提供と支援、介護施設との連携などの機能を有する。

4. 当院の特徴について

医療機関名		特徴①	特徴②		
31	別府中央病院	急性期から慢性期まで	当院の最大のアドバンテージは入院された方、ご紹介頂いた方は将来に亘っても関わらせて頂くことです。患者様の病態や社会的背景等を考慮し、現在の医療制度を勘案し、適切と思われる病棟(地域包括ケア病棟、医療療養病棟、特殊疾患病棟)、介護医療院で治療、療養、介護を継続します。嘗てのような最先端の治療は出来ないかもしれませんが身の丈に合った医療を精一杯遂行したいと思います。	各科専門医がチーム医療を展開	良質で良心的な医療・介護サービスの提供を目指しております。特に脳血管疾患や糖尿病、人工透析などの専門外来を中心に、急性期から慢性期、在宅復帰に至るまで専門医による一貫した治療が可能です。多くの介護施設との連携で退院後の療養環境も充実しており、別府ならではの温泉を利用した長期にわたる滞在保養も可能です。自然と文化に恵まれた環境で、患者様が安心して社会復帰を目指すことができるようにスタッフ全員で支援していきます。
32	内田病院	特化した医療の提供によるケアサイクルを構築	内科と整形外科に特化した医療を展開しており、内科では消化器内科を初めとする内科全般と内視鏡検査を年500件(令和3年度実績)、整形外科では人工関節置換術を中心に年468件(令和3年度実績)の手術をおこなっております。一方で患者様が住み慣れた地域で人生の最後まで生活できるための「かかりつけ医機能」としての役割を当院が持つことで医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供できる仕組みを構築しております。結果として『時々入院ほぼ在宅』のケアサイクルの機能の一端を病院が持つこととなり地域包括ケアシステム構築の一翼を担わせて頂いております。	院内に環医療の循環型サイクルを構築	建屋に81床の全室個室を備えた病院と同一建屋内に16床のサービス付き高齢者向け住宅、介護保険6事業所(デイサービス、訪問看護ステーション、訪問介護、訪問リハビリ、通所介護、居宅介護支援センター)を併設しております。その結果、一つ屋根の下で『医療・介護・在宅』の循環型サイクルが構築されることとなり院内に環医療の仕組みが完成されるに至りました。
33	浜脇記念病院	地域密着	旧病院を浜脇地区に建設してから2023年4月で50年経過と業歴もあり、永く地域に根差した医療機関。永い業歴からも地域医療機関様とは密接な協力関係も構築されており、地域住民様からも親しみを持たれています。	ロケーション	別大国道の入り口に位置し、病院施設から別府湾を一望できるロケーションはとても心が癒されます。春の穏やかな日や冬の寒風が吹きさす様子など、季節ごとに違った景色を通じて、自然の変化を感じることができます。
34	別府リハビリテーションセンター	医師を中心とした多職種連携	当法人は、回復期リハビリテーション病棟単科の病院で、専門的な知識と技術を土台としながら、医師をはじめとする各職種の連携により、患者個々の疾病や障がいのみではなく、心理面や社会面などを見据えた評価をおこないリハビリテーションを提供している。また、当法人が目指す「チーム医療」は、医師をチームリーダーとする多職種がそれぞれの専門性をもとに高い技術と知識を發揮し、互いに理解・尊重し目的と情報を共有して、連携・補完しあうことで「自分らしい生き方」を患者・家族とともに実現するリハビリテーションである。	医療・福祉・介護を提供できるリハビリテーション専門施設	医療・福祉・介護の3つの事業をおこなうリハビリテーション専門施設として協働し、相乗効果を生みだし、障がいのある方や高齢者が、住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、社会復帰のための最適なリハビリテーションの提供に努めている。
35	黒木記念病院	チーム医療	・診療部門においては、整形外科・外科・内科・麻酔科・リハビリテーション科・放射線科の各専門医が密に連携を図り総合的な医療を提供している。 ・患者を中心に、多職種(医師・看護、介護・リハビリ・栄養・MSW・心理士)が綿密な連携を図りながら、リハビリテーション医療を提供している。	地域包括ケアシステム	ケアミックス型病院を中心に介護保険サービス7事業、障がいサービス1事業、施設サービス1事業を地域に展開している。急性期医療からリハビリテーション、在宅サービスまでワンストップで質の高いサービスを提供している。
42	日出児玉病院	消化器系検査	・内視鏡検査(上部、下部)を随時行っており、日本人死因の上位に入る胃がん、大腸がんの早期発見に努めている。また、手術等が必要な場合については地域の中核病院に紹介し、当該病院退院後のサポートを再度当院で連携を取りつつ行っている。	訪問診療	・病院に来ることが出来ない寝たきりの方などを対象に、計画的に医療を提供している。また突発的な事態にも対応する往診も行っている。
43	サンライズ酒井病院	救急医療の充実 地域医療への貢献	救急医療においては24時間体制を取り、2023年では年間523件の救急車の受入数でした。毎月救急委員会を開催し、医師への喚起を促している。整形外科にあっては専門医達の熱い志を持って骨粗鬆症ステーション「道の駅」を開設、骨折の再発防止に取り組んでいる。脳神経外科では最新型血管撮影装置を導入し疾病の早期治療を図り、カテーテル治療をも施し、また近日手術用顕微鏡3Dシステムも導入し、脳のあらゆる疾患に対応できる体制を整備している。	健診における予防医療の充実	「サンライズ健診センター」を新設し、当地域の疾病予防に対応できる体制を整えた。町内健診、企業健診、協会けんぽの指定等を充実させ、地区住民を始めとする地域医療への貢献を目指している。
44	鈴木病院	救急体制	診療科は、消化器内科・肛門科・泌尿器科をはじめとし、循環器科・腎臓内科・肝臓内科・整形外科・放射線科等、専門医の協力連携のもと、外来診療を提供できています。外来患者に限らず、入院患者にとっても総合的な診療の質の確保に努めております。救急入院も当直医を含め、当院で治療可能な方についての受け入れを行う体制を整えています。	在宅支援	病院は、地域包括的な運営の拠点となっています。病床は、40床ですが、30床は急性期一般病床で、肺炎・心不全・腎不全のほか、消化器・泌尿器科の緊急入院や急性期病院からの受け入れを行い、治療と共にリハビリを開始し在宅支援を行っています。10床の包括ケア病床で、在宅に向け必要な準備を行っています。在宅支援の為、居宅事業所・小規模多機能施設、短期入所生活介護、訪問リハビリテーション・通所リハビリテーション施設のほか、老人保健施設、グループホーム、有料老人ホームの事業を展開した在宅支援を推進しています。
49	くりやまレディースクリニック	アットホーム			

4. 当院の特徴について

医療機関名		特徴①	特徴②	
50	衛藤外科	地域に根ざした在宅医療	昭和57年11月に衛藤外科を開業し、杵築市の救急医療を積極的に行ってきました。地域の高齢化に伴い、在宅医療の必要性も感じ訪問診療や往診に力を入れ、以来35年以上地域における在宅医療の中心的役割を担ってきました。	介護分野も含めた幅広いニーズへ対応できる総合力 平成11年4月から、地域の方々の声や杵築市の後押しもあり、社会福祉法人を設立し、在宅複合型施設の運営を開始。デイサービスセンターを2事業所、在宅介護支援センター、ケアプランステーション、ホームヘルパーステーション、介護タクシー事業、訪問看護ステーション、看護小規模多機能型居宅介護施設、特別養護老人ホーム(入所50床、短期入所10床)を運営しています。医療介護連携の必要性が高まっている中、様々なニーズをグループ全体でカバーできる総合力が強みです。
51	あおぞら病院	チーム医療	急性期から慢性期まで在宅復帰まで一連の継続的ケア・看護を提供する。地域包括ケア病床・訪問診療・看護・リハビリテーション、通所リハビリテーション、有料老人ホーム併設。	
56	姫島村国民健康保険診療所		離島である姫島村の唯一の医療機関として島外の病院と連携を行いかかりつけ医機能を果たしている 外来診療を中心とするが、訪問診療も行っており、入院診療にも対応している 血液透析をおこなっている	

5. 現状と今後の方針等

医療機関名	当院の現状	当院の未来像	その他(県民・受信者へのメッセージ等)
2 畑病院		今後の医療ニーズと国や県の方針に沿った医療を提供します	
4 安倍内科医院	急性期と慢性期共に対応してます	ほぼ現状と変わらない現状維持の予定です	
5 ヒロセ内科医院	別府駅前の住民および近隣の店舗等の従業員に医療を提供している。入院病床には、後期高齢者を中心に公的医療機関での加療後の後方支援、前方支援施設として運用している。	上記、医療体制を継続的に提供できるように、施設、スタッフを確保していく予定である。	当院は、内科患者様を中心に医療を提供させていただいています。入院病床も有しており、後期高齢者の患者様も比較的長期間にわたり入院加療が可能です。
6 清瀬病院	透析患者120名、地域の皆様に寄り添った医療を提供しています。		
7 うちくら内科	現状継続		安心していただける地域診療の提供
9 岡田眼科医院	現在看護師等スタッフの人員の問題で休床中であるため湯布院や国東、宇佐等からの手術希望の患者に対して入院治療を行う事ができず、遠方よりの通院やホテル泊など不便な思いをさせている。	5床の回復期病床により、別府市以外からの手術希望者や、市内在住の独居の高齢者が、入院して手術を受けることが可能になる。	将来的には術後回復期だけでなく、ロービジョンの方の入院しての短期集中歩行訓練等も行っていく予定です。
10 吉賀循環器内科	慢性疾患の継続治療と、日常の健康観察を続け、その他の急性疾患に関しては速やかに専門医療を受けられるように連携を行っている。新型コロナウイルスなどによる新興感染症に関しては発熱外来などを開設し対応している。各種予防接種なども積極的に行っている。外来診療の延長線として、主治医意見書の作成や訪問看護、訪問介護など介護保険への橋渡しを行い、訪問診療にも対応している。		心配だからといってすぐに大きな病院を受診するより、普段のかかりつけ医に相談し専門医療機関へ紹介を受ける方が、より速やかに信頼できる専門医への受診に繋がります。地域で診療しているかかりつけ医はその疾患に対しどの病院に信頼できる専門医がいるかを把握しているからです。
12 馬場医院	在宅療養支援診療所として、訪問診療を実施し24時間対応しています。また、患者様の病状の変化に応じ、適切な連携医療機関への紹介も迅速に行っております。	高齢者社会になり、ますますかかりつけ医としての役割が大きくなってきております。安心していただけるかかりつけ医を目指します。特に、高齢者の訪問診療から入院まで近隣の医療機関との連携を密にしていきます。	地域の皆様のかかりつけ医として、より良い医療・看護・介護を提供していきたいと思っております。
13 岡嶋医院	癌の末期を始めとして、循環器内科、消化器内科、整形外科、呼吸器内科等、入院が必要な患者様の治療を行なっている。	後継医師がおらず、院長も高齢であるので、事業の拡大は考えておらず、現在の入院は縮小して行き、外来診療に移行することも考えている。	受診された患者様は誠心誠意能力の限り、診察・治療し、身体のみでなく精神的なフォローも行き、そのための勉強も頑張っております。
14 中村病院	<ul style="list-style-type: none"> 当院は、年間新規入院患者数は1500~1600名、在宅復帰率は8割前後であり、一般病棟に大半の患者を受け入れ、地域包括ケア病棟及び療養病棟への転棟を行っている状況である。 当院の病床機能は、急性期が60%、回復期(地域包括)が20%、慢性期が20%となっている。 当院の病院理念は「恵愛・信頼・貢献」であり、その基本方針の一つとして、<u>周辺の医療機関などと連携し、地域に貢献し、信頼される中核病院として活動</u>することをモットーとする地域密着型の病院である。 	<ul style="list-style-type: none"> 当院のこれまでの実績を踏まえ、担っている役割としての急性期病院として二次救急機能を維持・継続しつつ、今後の地域のニーズに応えるべく、回復期、慢性期機能の拡充を図っていく。 また、3次救急からの患者の受入れ強化を図るため、<u>地域包括ケア病棟(回復期)機能の強化</u>を目指す。 具体的には、令和4年12月に一般病床26床を地域包括ケア病床へ転換し、<u>地域包括ケア病床を25床から51床への増床を実施</u>した。 	<ul style="list-style-type: none"> 当院は、地域の急性期医療を担う病院として、また回復期、慢性期機能も併せ持つ病院として「安全で信頼される医療を行い、皆様の健康な生活に貢献します」という病院理念を掲げております。今後とも、この理念に基づき、地域の皆様方に「安心・信頼」してご利用頂けますよう、また「安全」を常に心がけて努力して参ります。
16 あおい産婦人科			<p>患者さま一人一人の納得と同意のもと、医師を中心としたチーム医療を、助産師・看護師・スタッフ一丸となって行き、院内感染や医療事故防止に細心の注意を払い、患者さまの安心・安全を最優先に、心ある医療を提供します。</p> <p>そのための医療技術の向上と質の高いサービスのため、医院をあげて研修に取り組み、日々研鑽に務めます。</p> <p>産婦人科を取り巻く状況は、今大きく変わりつつあります。特に産婦人科開業医の社会的立場や責任の大きさは、計り知れないものがあり、今後さらにその重責は増してくるのだと考えています。</p> <p>その為、常に医療技術と意識の向上を怠らず、慢心せず、最良を目指し続ける姿勢が大切だと考えています。</p>
17 原嶋内科医院	休止中ですが条件が整えば再開したいと思っています。		

5. 現状と今後の方針等

医療機関名	当院の現状	当院の未来像	その他(県民・受信者へのメッセージ等)
20 武井医院	一般内科を主に外来入院加療を行なっている患者さんは近隣地域の方が多くおさめている 当院併設の訪問看護、ヘルパーステーション、ケアプランセンターと連携をとり、24時間365日対応を行っている	可能であれば、 精神科、神経内科の外来を増加し多面的に老人医療に対応できる様 にしたい	当院は地域医療を主に 老人医療、回復期医療、慢性期医療に対応できる医療体制を目指しています 。気軽に受診、介護医療についての相談ができる窓口でありたいと思います
23 村橋病院	*急性期病院等からの紹介にて、神経難病の方、重度の意識障害者の方、人工呼吸器の方など 重症度が高くケアの量が多い方の受け入れ を積極的に行っている。 *在宅医療では、 高齢者施設等への在宅医療 を行い、長期的な在宅生活が可能となるよう支援体制を整備している。	*地域のニーズでもある、神経難病の方、重度の意識障害者等の重症度が高くケアの量が多い方の受け入れについては継続していく。 *長期療養の方でも、 継続的なリハビリテーションが受けられるよう整備 していく。 *在宅復帰を支援し、 長期的な在宅生活が継続できるよう、法人内で連携を強化 していく。	*在宅復帰が難しい方や、継続的な医療が必要な方が安心して長期療養できるようご家族も含め、誠心誠意、対応いたします。 *訪問看護、居宅介護支援センター、介護医療院を併設しており、法人内で連携して、在宅療養を支援いたします。
24 村上脳神経内科クリニック	MRI・CTを導入 し疾患の早期発見、早期治療を心掛け、他の医療機関と積極的に連携を取りながら、質の高い医療を提供している。慢性疾患においては 積極的に介護との連携 を取り、地域に根ざした医療を提供している。	今まで以上に専門性を高め、より一層地域医療に特化する。	開業して40数年、これからも地域に根ざした専門性の高い医療を提供していきます。
25 原嶋内科医院	休止中であるが 必要とされることとスタッフが揃えば再開したい 。	介護と医療を結びつけることが出来ればと考えています。	
26 さかい内科医院	かかりつけ医として、一般診療、訪問診療、健康相談、健診、予防接種、発熱外来などを行なっています。	今と変わりなく続けていけたら と思います。	
27 児玉病院	地域密着型の病院として、 外来患者のかかりつけ医の機能 を持つと共に 初期救急患者の受け入れ と急性期病院からの紹介患者を受け入れ、患者の状態により 在宅復帰若しくは看取りを含めた長期療養 を行うことにより地域医療に貢献する。	今後も地域密着型の病院として、外来患者のかかりつけ医の機能を持つと共に 初期救急患者の受け入れ と急性期病院からの紹介患者を受け入れ、患者の状態により 在宅復帰若しくは看取りを含めた長期療養 を行うことにより地域医療に貢献する。また、 訪問診療及び訪問看護、訪問リハビリテーション等の在宅医療の充実 を図る	当院は、かかりつけ医の機能を有した地域密着型の病院です。初期救急から看取りを含めた長期療養まで受け入れが可能。在宅復帰を目指す患者様には、積極的なリハビリテーションを行い在宅復帰をお手伝いいたします。血液浄化センターを備え、維持期の血液透析も実施しています。
28 野口病院	甲状腺、副甲状腺を中心とする内分泌疾患の集学的専門的な診療 を行うための設備の整備、診療技術や知識の蓄積、人材の確保に務めてきた。また、自施設でのこれまでの治療成績を分析し現在の治療にフィードバックする姿勢を確立してきた。	これまでに蓄積した診療経験を活かし、 内分泌領域の専門医療をさらに発展 させる。専門的な医療を大分県を含めた広範囲の医療圏の患者さんに提供する。 甲状腺疾患は経過の長いものが多いので高齢化社会になっても重要性が減ることはない。また、ホルモン異常や糖尿病はフレイル、サルコペニア、骨粗鬆症などと関連があるので、 健康寿命の延伸や高齢者のQOLなども考えた疾病管理を強化 する。	甲状腺、副甲状腺、内分泌疾患に対して専門的に診療している医療機関は全国的に見ても少ない。弊院の得意分野において専門病院ならではの医療を提供したい。
29 木下医院	常勤医師2名(内科、眼科)と非常勤医師1名(眼科)で、 内科・眼科が院内で緊密に連携を図りながら診療を行う体制 となっている。内科・眼科共に 各種検査診断機器などを活用した診療の高度化・充実化 に努め、眼科では高齢者に多い白内障については当院でも手術を実施しているが、症状が重篤であったり集学的な治療を要する患者様は域内の中核病院に速やかに紹介することで、高度で専門的な医療の提供に努めている。なお、2019年以降の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に際しては、地域医療機関としての責務を果たすべく発熱外来の開設やワクチン接種などによるコロナ対応を積極的に図っている。	高齢化率の上昇にともない回復期から慢性期の病床数の不足が指摘される中、「病院完結型」の医療から地域全体で治し支える「 地域完結型 」の医療への転換が求められており、また新型コロナウイルス感染症の感染拡大により病院の機能分化・連携等の重要性が改めて認識されたことなどもあり、今後地域全体での質が高く効率的で持続可能な医療提供体制の確保を図っていくことがますます重要になってくるものと思われる。こうした環境下、当院としては引き続き自院での診療の高度化に努めるとともに、 域内医療機関との関係を強化し連携を積極的に図る ことで患者様の病態に応じた最善の医療の提供を実現していきたい。	当院では、ご希望の方は内科等と眼科の診察を一緒に受けることができます。どちらか待ち時間の少ない方から受診していただくことで、お待たせする時間の短縮につながっています。また糖尿病や高血圧など両科に関連の深い疾患も多いことから、両科が連携して経過観察・加療を行っており、症状が重篤な場合などは域内の中核病院等にご紹介し、高度で専門的な医療のご提供に努めています。なお、お薬は院内調剤ですので会計時に両科の薬を窓口でお渡しし、希望される方には院外処方箋の発行にも対応しております。ご来院いただいた患者様に体力的・精神的・時間的負担をできるだけ軽減して受診していただけるよう、当院スタッフ一同努力しております。

5. 現状と今後の方針等

医療機関名	当該の現状	当該の未来像	その他(県民・受信者へのメッセージ等)
30 石垣病院	開設当初より 呼吸器疾患を中心に診療 を行い、多くの喘息、肺炎、COPD等の患者が別府市内外から受診されている。また、消化器疾患、循環器疾患については専門医による的確な診療を行っている。内視鏡外科専門医による腹腔鏡手術も積極的に行っており、休日・夜間の緊急手術にも対応している。がん治療については消化器系と呼吸器系のがんに対して診断、治療、手術を行い、必要に応じて化学療法や免疫療法、そして緩和ケアまで行っている。リハビリテーションについては、脳血管、運動器、呼吸器疾患のリハビリテーションを提供している。 各施設や患者宅への訪問診療も行い、在宅医療も提供している。	入院については、急性期疾患の患者に対応した急性期一般病床の機能は今後も維持していく。そして急性期を終え、在宅や施設へ移行するまでの 在宅復帰支援を担う地域包括ケア病床の増床を行い、リハビリテーションを更に充実させ、幅広いニーズに対応できるように整備をする。 外来については、地域のかかりつけ医としての役割を担い、 今後も在宅療養支援病院としての体制を維持する。地域の病院、診療所、施設等との連携をより一層強化し、患者や地域のニーズに合った医療を提供する。	当院の病院理念は、「命の尊重を約束します。」的確に診る 優しく 看る 暖かく観るです。 当院は、かかりつけ医として夜間・休日の救急対応はもちろん、急変時の入院対応といった地域の患者様の必要とされる医療を提供できるよう医師をはじめスタッフ全員で常に心掛けております。
31 別府中央病院	現在の当院の立ち位置は別府市内の 基幹病院 (九州大学病院別府院、別府医療センター、厚生連鶴見病院、新別府病院等)と 一般の医院(クリニック)の中間 にあります。通常、患者様は何か症状があれば近所の医院(クリニック)や当院のような中小病院を受診されると思います。そこでは確定診断や治療が困難とされた際はより充実した機器、技術を擁する中小病院や基幹病院に紹介されます。当院では通常の外来および入院診療の他、ご紹介を頂いた際は、小規模な医院では困難な検査等を行い外来治療、入院治療を致しますがその状況によっては基幹病院に依頼(紹介)することもあります。	*前述のとおり、 急性期から慢性期までステージに合わせ、一貫した医療介護を提供します。 *地域医療構想、地域包括ケアシステムの議論推移も参考にしながら当院のポジションを確認し、柔軟に対処します。 * 診療科は、医療圏の状況や患者のニーズを見て加除していく予定です。	*昭和40年代から、県内や別府市の救急医療体制の一翼を担ってきました。 *現在は、立ち位置を確認しながらも、引き続き救急車・救急患者の受け入れを積極的に行っています。この方針は変わりありません。 *療養や介護が長期にわたらざるを得ないケースにも、患者さんやご家族の希望を出来るだけ取り入れつつ、満足度アップを目指します。
32 内田病院	当院は地域医療構想ガイドラインに準じた病床機能として「 急性期」と「回復期」の二つの機能に特化した入院医療 をすでに展開しております。外来診療においては内科全般と整形外科を中心に令和4年12月度に1日当たり177人の延べ患者数を記録し対前年同期比で118.8%の伸びを示しております。また整形外科の手術件数はコロナ禍ではありますが令和4年12月末日の時点(9ヶ月経過)で421件と対前年同期比で116.0%の伸びを確保いたしております。更に地域包括ケアシステムの一翼を担うべく、病院と同じ建屋内に併設したサ高住、デイサービス、訪問介護・看護、訪問リハビリ・デイクア等の 在宅復帰に欠かせない住まいと介護サービス事業を安定的に運営 しており、医療から介護へそして在宅への流れを一体的にすすめております。	当院は1902年9月1日に診療所として開設、爾来120年の歴史を重ねて参りました。この間、常に地域に支えられ地域と共に歩んで参りました。しかし2020年から2045年にかけて当院の位置する診療圏における外来患者様と入院患者様は人口減少による影響で共に約2割の減少が見込まれております。従いまして当院にご来院する外来患者様と入院患者様は共に減少することが予想されます。当院はこういう環境下での「 病院経営が如何にあるべきか 」を真剣に考え、それを実行に移して参りたい。そのためには 事業の「選択と集中」 を心掛け、 人材を初めとする経営資源を大切に且つ有効に活用 することで当院の持てる機能を更に深掘りすることに努めて参る所存でございます。そして名実ともに地域に「 生き残る病院 」としての地位を確立して参りたい。	当院の理念は「 誠意のある安心医療の提供 」です。その理念を達成するために「 患者満足度と職員満足度の永く追及 」というビジョンを掲げ、そのビジョン達成のために6つの施策を実施いたしております。①消化器内科と整形外科に特化した専門性の高い医療の提供②「 医療の質」「介護の質」「経営の質 」の見える化による三位一体の質向上の追及③人事制度の整備による自律的人材の育成④安定した病床利用率と適正な平均在院日数の実現⑤ 在宅事業強化 拡大による「 地域包括ケアシステム 」構築への貢献⑥地域住民の健康管理と健康増進への貢献、以上6つの施策を掲げ着実に実行に移しております。これからも地域に安心で安全な医療と介護サービスをご提供させて頂くことを使命として捉え地域貢献を果たして参る所存です。
33 浜脇記念病院	*別府市内の医療機関様等より療養患者様の受入れも行い、 又、介護医療院も併設 していることから、長期的に療養されることが可能です。 * 地域住民様の健康への啓蒙活動 として、別府南公民館で開催します当病院の田代理事長の講和や、地域医療機関で構成された「 南部の手 」を通じて地域住民の方々へ、健康に関する話などの幅広い活動も併せて実施しています。	*在宅を主体に取り組んでいる医療機関様や介護施設様と連携を密にし、 レスパイト等の対応も柔軟に出来るよう体制を構築 します。又、高齢化社会へ進む中、当病院は 終身医療として看取り体制の充実 にも取り組んでいます。 *地域の病院様及び診療所様との連携を深め、患者様にとって利便性の高い病院になるよう目指します。	「 地域の人々の健康で豊かな人生を医療と介護を通じて支えます 」との理念の元、患者様及びご家族様へ納得のいく医療介護に尽力していきます。
34 別府リハビリテーションセンター	入院は、 全床(116床)が回復期リハビリテーション病棟 であり、急性期病院から早期に患者を受け入れ、365日リハビリテーションを提供している。外来は、リハビリテーション科と内科を標榜しており、 法人内外の病院から退院した患者のアフターフォローとしてリハビリテーション等 を提供している。その他、福祉(障害者支援施設ほか)・介護(通所・訪問リハビリテーションほか)の事業でリハビリテーションの提供をおこなっている。	今後も広大な敷地と恵まれた環境を活用し、回復期リハビリテーション病棟、外来をはじめとした、 福祉、介護のリハビリテーション専門施設として質の高いリハビリテーションの提供 に努め大分県のリハビリテーションの中心的役割を担う。法人の専門性や特長について広報活動や各事業の実績等の情報発信をおこない、地域や前方・後方連携機関の方々により広く認知してもらいリハビリテーション専門施設としての認知度・信頼度の向上を図る。	別府リハビリテーションセンターでは、病氣や事故による後遺症などがある方に対して、障害者支援施設や回復期リハビリテーション病棟(病院)、通所・訪問リハビリテーションなどにより、社会復帰・地域生活へ向けた切れ目のないリハビリテーションをおこなっています。また、ご家族はもとより、急性期病院や他の病院・施設、職場、学校など関係する方々と連携し、利用者のみなさまが自分らしくあわせに生活できるよう支援しています。
35 黒木記念病院	* 地域密着、全人的な医療・看護・介護・予防 を行うことを理念に地域(別府市北部地域)に根差した医療を展開している。 * ケアミックス型病院 であり、急性期(整形外科・内科を中心)、回復期(運動器・脳血管・廃用症候群)、慢性期(介護医療院)とリハビリテーション機能を重視した医療を提供している。 *呼吸器内科を中心にCOVID-19にも積極的に対応している。	* 地域包括ケアシステムの推進 かかりつけ病院としての外来診療機能強化、病院部門における、サブアキュート機能の強化、リハビリテーション機能の維持・強化、外来部門・在宅部門の機能強化と有機的な連携を推進する。	2023年10月に開院70周年を迎えます。 これからも地域の皆さまの健康のために、地域に密着した医療・看護・介護・予防を職員一丸となって行って参ります。

5. 現状と今後の方針等

医療機関名	当該の現状	当該の未来像	その他(県民・受信者へのメッセージ等)
42 日出見玉病院	<p>・病気を診るのではなく、全人的なサポートが出来るように心掛けており、その方の家庭環境等も鑑みながら、その方に合った総合的な診断、治療を実施している。</p> <p>・病院に直接来れない方にも、家に居ながら医療が受けられるように訪問診療や往診にも力を入れている。</p> <p>・同じ建物内に介護支援ステーションと訪問看護ステーションを併設しているので、病院利用時に介護に関することや退院後の訪問看護利用など相談しやすくなっている。</p>	<p>・非常勤医師で皮膚科、泌尿器科を増やし総合的に医療を提供できるようにする。</p> <p>・地域包括ケア病院となっているので、急性期後の患者様を主に対応することになるが、外来にいられた方がそのまま入院となる急性期的な対応についてもこれまで通り行っていく。</p>	<p>・上記以外にも健診や予防接種、リハビリテーションも実施しており地域の皆様が必要とする医療等を提供できるように今後も真摯に取り組んでいきます。</p>
43 サンライズ酒井病院	<p>当院では2年前の1月にクラスターが発生し、当時は風評にも耐え、何よりも連日のマスコミによる「罪びと扱い」の報道に職員一同がトラウマとなり、今でもコロナに怯える心は消えません。少しの疑いがあれば直ぐにも病棟は閉鎖。救急車の受入れもストップされ、稼働率は全く上がりません。しかし患者さんの信頼は回復され、お陰さまで外来数は徐々に増えては来ています。コロナの猛威の前に、未だ限られた医療では在りますが、整形外科、脳神経外科をはじめ各医師が地域医療のため誠心誠意をもって業務に携わっております。</p>	<p>健診においても開設して5年目になりますが、年々受診者も増えております。早期発見、早期治療に繋げていきます。また整形外科常勤医を1名増やし5名体制に、また脳神経外科医は現在非常勤医を含め6名体制であり、専門性に特化した、より高度な医療を目指します。またそれに伴い更なるリハビリのセラピストの増員を図る。内科医も呼吸器科、循環器科、消化器科、内分泌科、DM専門医が充実しており、さらに外科医も含めたチーム医療を目指します。東部医療圏において別府市内の公的医療機関に委ねるのではなく、地域住民の便意性をも考慮し、なお法人理念である「安全・満足・積極」のもと完結型医療を推進して行きます。</p>	<p>コロナのため、今はやむなく毎年実施しておりました病院祭もこの4年程中止せざるを得ず関係職員も自失しております。「健康とは医療とは」と地域の人たちに当院として幾ばくかでも触れ合えればと始めた取り組みでしたが、とても好評で最後の年の2018年には2,000人を超える方々が集まってくれました。必ずまた開催したいと職員一同強く願っております。どうか皆様方コロナに負けずに頑張りましょう。</p>
44 鈴木病院	<p>当法人理念「一人ひとりに真心込めて、皆様の声を大切に、住み慣れた町での安心を応援します」のもと、医療、介護を連携し地域住民へのサービスを継続しているところです。当院の病床利用率は100%。緊急的に入院を要する件数は年間240件以上となります。入院患者の平均年齢は、76.5歳(男性71歳 女性81歳程度)です。疾患は消化器、呼吸器、循環器・泌尿器・一般内科の順に割合は占めております。専門的な、消化器・肛門・泌尿器の手術も行っています。最近では、特定検診や、定期検診にて、悪性疾患を発見する事も多く、大学病院や専門病院への紹介も多くなっています。このように、早期発見、急性期治療が診療では欠かせない状況です。</p>	<p>かかりつけ患者や、地域の高齢者患者を含めた一般診療や急性期医療を今後も可能な範囲で継続します。また、地域の高齢化率の上昇に伴い、施設の入所も限られています。「住み慣れた町での生活を応援する」という理念のもとに、地域包括ケアの推進は不可欠です。当院でも再入院が多い年代があります。老々介護世帯・独居世帯も多い地域だからです。昨年12月に在宅支援特に、再入院予防、退院後の生活支援等の為に訪問看護ステーションを立ち上げて運営しています。他の事業所と共に、地域に根差した、在宅生活を健康で楽しく過ごしていただけるよう必要不可欠な拠点になるような運営もしてゆきたいと考えています。</p>	<p>法人の詳しい情報は当院のホームページをご覧ください。</p>
50 衛藤外科	<p>外科や整形外科では全身の骨や関節の異常で生じる「痛み」や「まひ」などの症状に対して、診察により原因を追求します。そして、その診察結果に応じて消炎鎮痛治療(あん摩マッサージ指圧師によるマッサージや理学療法機器による)や鎮痛剤の投与、生活習慣指導などを全般的に行います。また交通事故での打撲や捻挫・外傷(けが)、労働中や、子どもさんの学校、家庭における外傷(けが)に対して、初期治療を行います。胃腸科では胃腸などの消化器にまつわる不調や疾患に対して検査や治療を行います。内視鏡検査を受けることもできます。肛門科では各種痔や周辺疾患に対して診療や治療を行います。当院では、診療所の送迎車がご自宅までお迎えに行き、受診後もお自宅までお送りする無料の送迎サービスを行っております。</p>	<p>当院では専門領域のみならず、在宅のかかりつけ医として総合的な診療を行っており、かぜ、頭痛、胸痛、腹痛、下痢、インフルエンザ、アレルギー性鼻炎(花粉症)、肥満、生活習慣病(メタボリックシンドローム)など適切に診断し患者様にあった治療を今後も行っていく予定です。最新検査機器を導入して、健康診断部門を充実させて、患者様の病気を早期に発見できるように予防医学も力を入れる。リハビリテーション機器・スペースを確保し、医療から社会復帰の援助まで一貫した医療提供体制を確固なものにする。地域の病院及び診療所との連携を深め、患者様にとって利便性の高い診療所になるように目指す。</p>	<p>日頃より、患者さまの不安や緊張を取り除くよう、自由に話しやすい雰囲気づくりを大切にしています。お話をよくお聞きし、病気の内容、治療、薬などについて十分ご説明することで、安心して治療に専念していただけるように心がけております。</p> <p>これからも、「患者さま第一、地域とともに」を念頭に、地域の医療・保健・福祉にお役に立てるよう、診療に取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>目指すは「住み慣れた地域・自宅です」です。</p>
51 あおぞら病院	<p>循環器疾患を中心に急性期から慢性期までの継続ケアを目指します。地域のニーズに合わせて急性期病床、地域包括ケア病床、障害者病棟と構成しております。また、人工透析も行っております。</p>		<p>急性期から慢性期まで、また、在宅復帰後も継続的ケアを目指しております。また、通所リハビリテーション併設。現在、有料老人ホームを建設中です。</p>
53 国見病院	<p>現状維持を基本としますが地域医療に貢献できるよう提供する医療の質を向上し、地域に必要な医療を提供したいと考えています。</p>		
56 姫島村国民健康保険診療所	<p>離島でも安心して生活できるように、地域包括医療・ケアを実践している医療だけにとどまらず保健・予防・健診・介護の活動も積極的に行う</p>	<p>少子化の進行により地域内の看護・介護職等の不足が見込まれる「支えられる高齢者」よりも「支える高齢者」が多くなるように健康高齢者の増加を目指す活動を行う</p>	